

人権だより

(令和6年度 6月号)

川之石高校人権委員会 担当 3年次2組

今月は、6月7日(金)の6限目に実施された、1学期人権・同和教育ホームルーム活動について報告します。各年次のテーマにそってクラスごとに学び、意見交換を行い、考えを深めました。

【1年次のテーマ】 よりよい人関係をつくろう

1年次1組 人権委員

私たちは、「疲れているときに誘われたらどうするか。」「仲の良い友達の悪口を言われたらどうするか。」「お願い事をして気まずそうにされたらどうするか。」という具体的な場面でどうふるまえば良いのかをみんなで考えました。相手の立場や状況に応じて言い方を変え、自分が伝えたいことを表現することが必要だと思いました。自分も相手も大切にしたい思いやりのある行動をしたいです。



1年次2組 人権委員

私たちのクラスは、「友達の良いところを探そう」というテーマで活動をしました。まず班の中で自分の趣味や大切にしていることを話しました。その次に、班の人の良いところをメッセージカードに書きました。今回の活動を通してクラスメイトのことを知ることができました。「お互いを知る」ということは大切だと思いました。



【2年次のテーマ】 解放への歩みⅠ ～部落差別の起こり～

2年次1組 人権委員

私たちは、渋染一揆が成功した理由についてクラスで考え、意見を共有しました。「不当な差別を許さないという強い気持ちがあった」「差別を受けた人々が団結し、おかしいことだと主張して行動したから」という意見が出ました。差別は自然にはなくなりません。今自分たちにできることを考えて、自分も他人も大切にできるようにしたいと思いました。

2年次2組 人権委員

今回の人権・同和教育ホームルーム活動では、部落差別を受けた人々の起こした行動から、さまざまなことを学びました。人間として平等に扱われるのは当然のことで、団結して強い気持ちで差別に立ち向かったのはすごい勇気だと思います。現代でも差別は根強く残っていますが、まずは差別が「誰か」のことではなく、自分の問題だという意識を皆が持たなければならないと思います。



2年次3組 人権委員

私たちは今回の学習を通して、歴史を学習する意味を考えました。過去に起こった出来事から学び、同じ過ちを繰り返さないようにすること。そして自分が生きていく上で何かが起こった時に、昔の人たちが取った行動を参考にして、より良い方向へ進んでいくためです。これからも学習を重ねて正しい知識を身に付けたいです。

【3年次のテーマ】 解放への取組Ⅰ ～公正な採用選考に向けて～



3年次 人権委員

今回は「公正な採用選考」について考えました。3年次になり、就職指導や面接指導を受けているので、とても身近な問題として考えることができました。差別につながる恐れのある質問をされた時には、「答えない」「報告書に書く」等の対策をきちんと取りたいです。司会進行をしてとても緊張したけれど、先生やみんなに「良かったよ。」と言ってもらえて嬉しかったです。

3年次 人権委員

今回は就職差別について学びました。自分の能力とは全く関係のない事柄で選考をされることに非常に疑問を感じました。今の時代にもこのような質問をされる可能性があることを知ることで良かったです。自分の身に差別が降りかかってきたとき、どう対応すればよいかを学べて良かったです。全国高等学校統一用紙の制定に向けて声を上げた高校生の勇気はすごいと思いました。